

スマートフォンの豆知識

ホームガス課 森本 英幸

今や誰しもが持っている「スマートフォン」です。無くてはならない「スマートフォン」です。
連絡手段、ゲーム、新聞、SNS、メール、仕事。スマートフォン1台でなんだって出来てしまいます。今の時代、確定申告もスマートフォン1台で出来てしまう時代になりました。
今回はスマートフォンの歴史、豆知識を紹介したいと思います。

①スマートフォンの歴史

スマートフォンという名称は「Smart(賢い)」と「Phone(電話)」という2つの言葉から来ています。
スマートフォンの始まりは、1992(平成4)年。アメリカのラスベガスで開催されたコンピュータ産業のトレードショーに登場したIBM社製のもの。
2年後の1994(平成6)年にタッチパネルを搭載した「IBM Simon」が発売されましたが、この時点では「スマートフォン」という名称は存在せず、1996(平成8)年にフィンランドのNokia社が発売した携帯電話「Nokia 9000 Communicator」を「スマートフォン」と呼んだのが名称の起源とされています。
その後2007(平成19)年にApple社の「iPhone」が発売されます。2008(平成20)年にソフトバンクを通して「iPhone」が発売されるまでは、「スマートフォン」という名称もほとんど存在していませんでした。
その後、2011(平成23)年にNTTドコモ社が日本独自の機能を備えた「スマートフォン」をリリース。これを機に「スマートフォン」への移行が顕著になったといわれています。

②便利なスマホグッズ「Tile Mate EC-13001-AP」

カギや財布など、どこに置いたか忘れたり、失くしてしまったりすることがありますよね。そんな事態に備えられる便利なハイテクグッズがTile Mateです。
かわいいミニサイズのスマートトラッカーで、Tileを大事な物に付けておけば、居場所を音や地図で調べられます。そのため、家の中や外出先でカギを落としてしまった時にも、スムーズに居場所を特定できますよ。
また、2,000円ほどという購入しやすい価格なことも魅力で、友人や家族へのギフトにもぴったりです。紛失や盗難といったものの事態にしっかり備えられる便利グッズ。「物をよく失くしてしまう…」という方は、是非。私の一押しです。



③バッテリー豆知識 バッテリーを長持ちさせる方法。

①画面の照明を最大限に暗くする。

全く見えない状態にしてしまうと意味がないですが、見えるギリギリのところまで照明を下げるとバッテリー消費を抑えられます。

②節電モードをONにする(iPhoneの場合)。

節電モードをONにすると、メールの自動受信などが一時的にカットされてしまいますが、LINEや電話は普通に着信するので、かなり有効です。

スポーツの日

リビングサービス課 中川 拓哉

暑い夏も終わり過ごしやすい日々になってきたかと思います。今回のタイトルにもしています「スポーツ」ですが、皆さんは「スポーツ」や何か体を動かす運動などされていますか？ 私は趣味でゴルフをしまして最近はコースで極力歩くことを意識していますが体重は減りません…(涙)。
私の話は置いておいて、今回「体育の日」から「スポーツの日」に変わったことを皆さんご存知でしょうか？
今更かと思う方もいるかと思いますが、何故名前が変わったのか少し調べてみました。

2020年に「体育の日」から「スポーツの日」に改称されました。
体育の日は、1964年に日本で初めて開催された東京五輪を記念し、1966年に「スポーツにたししみ、健康な心身をつちかう日」として制定された国民の祝日です。
2020年の東京オリンピック開催を迎えるにあたって、教育的な意味合いが強い「体育」という言葉よりも、身体を動かすことを楽しむ「スポーツ」のほうがふさわしいのではないかと、という声があがったようです。
そこで名前が見直され、純粋に運動を楽しんでスポーツの価値を広く理解することを目的に、世界的な文化である「スポーツ」という言葉を使った「スポーツの日」という名称がつけられたとされています。
特例により、2021年は東京五輪の開閉会式に合わせて3つの祝日(「海の日」、「山の日」、「スポーツの日」)が移動されたため、2021年の「スポーツの日」は、東京五輪開会式が予定されている7月23日(金)になりました。

最近では春に運動会を実施する学校も増えていますが、「体育の日」(現「スポーツの日」)のころは運動会シーズン。運動会は秋の季語で、秋の風物詩のひとつです。
かつての「体育の日」には、運動会をはじめ、スポーツイベント、体力測定、スポーツ施設の開放など、さまざまな催しがありました。
「スポーツの日」と名称が変わってもそれは同様で、気候もよく、体を動かすにはうってつけですから、スポーツに親しみ、健康を考えるきっかけになると良いですね。



参考 : <https://allabout.co.jp/gm/gc/488922/#3>
https://www.hoikushibank.com/column/post_1737